

2. 総会及び同時開催研修会、交流会

1) 総会及び同時開催研修会

(1) 開催実績

日 時：2023年6月10日（土）10：00～12：30

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：（総会）出席 53 名・委任状 168 名・研修会）71 名

プログラム：

時間	プログラム
9：50～	開会・オリエンテーション
10：00	『第10期定時総会』 開会の挨拶・議長選任 大橋代表 総会 議案説明 廣川副代表 議案採決 議長 大橋代表
10：20	『同時開催研修会』 情報提供：「認定更新申請の情報提供」 北関東ブロック 田中照美氏
10：40	休憩
10：50	講義：「法律・制度を活用したコミュニケーション向上術」 加藤看護師社労士事務所 代表 加藤明子氏
12：20	協議会からのお知らせ 閉会のあいさつ 野崎監事
12：30	閉会



(2) 活動を通して

本年度もオンラインを利用した Zoom 開催となった。

総会では委任状を含む 221 名が参加、同時開催の研修会では 71 名の参加があった。研修会は①訪問看護認定看護師更新申請のための情報提供②訪問看護ステーションの『法律・制度を活用したコミュニケーション向上術』をテーマに講演を開催。参加者のアンケートから高評価を得ることができた。

講師のスケジュールの都合で午前開催となり時間の制約が大きかったが、事前の話し合いでタイムスケジュールを調整し時間内で開催することができた。



2) 法人第 10 期記念交流会 2023

(1) 開催実績

日 時：2023 年 12 月 9 日（土）13：00～16:00

開催方法：ハイブリッド開催（会場 AP 東京八重洲ルーム A /Zoom ミーティング）

参加人数：58 名

プログラム：

時間	プログラム
13：00	オリエンテーション・開会の挨拶 大橋代表
13：03	祝辞動画 日本看護協会高橋会長
13：07	応援メッセージ
13：12	記念講演 徳島大学 山下留美子氏
13：55	スライドショー「私たちの歩み」
14：50	休憩
15：00	応援メッセージ
15：02	ワークショップ（交流会）
15：48	スライドショー「仲間からのエール」
15：58	閉会の挨拶 野崎監事
16：00	閉会

(2) 活動を通して

会場と Zoom のハイブリッド開催となった。

会場では 22 名、Zoom36 名で計 58 名の参加があった。今年度は 10 期の記念交流会であった為、記念交流会の役員が中心となって企画、準備し、総務は補助的な役目を担った。記念公演の企画の他、祝辞動画・応援メッセージの募集・スライドショーの作成等事前準備が必要な内容が多く、役員が理事が分担して準備。当日実施の記念講演・レジェンドトーク・ワークショップも合わせて、盛りだくさんで楽しい内容の交流会となり、アンケートも高評価を得ることができた。

3. 訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

活動名：訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

メンバー：8名

豊田好美氏（理事）・田川章江氏（理事）・野崎加世子氏（監事）

佐伯聡子氏（関東ブロック）・篠原かおる氏（関東ブロック）・飯島美佳氏（南関東ブロック）

菊池悦子氏（東海北陸ブロック）・向山時恵氏（関東ブロック）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月30日（水）	第1回運営会議	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶と自己紹介 事業の概要説明 （当協議会で行うに至った経緯・今年度のテーマ・今後のながれ・研修内容について） 検討事項（役割分担・座談会のグループ分け） 	8名
10月30日（月）	第2回運営会議	日程、進行確認、Zoom操作練習、座談会についての進行確認	8名
11月18日（土）	ミニ講座&座談会実施	(2) 参照	22名
11月18日（土）	第3回運営会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会後にアンケート結果の確認 メンバー間の意見交換 	8名

（2）ミニ講座「安定したステーションの運営を目指して」&座談会の開催

日時：2023年11月18日（土）9：00～12：00

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：14名

プログラム：

時間	プログラム
9：00～	開会・オリエンテーション
9：10	ミニ講座「安定したステーションの運営を目指して」 ①スタッフ定着育成術 飯島美佳氏 ②地域に求められる訪問看護ステーションになろう 篠原かおる氏
10：10	休憩
10：20	座談会
11：20	グループ発表
11：40	本日のまとめ
11：50	アンケート説明
12：00	閉会

(3) 活動を通して

閉鎖、休止に追い込まれるステーションや孤独になりやすい管理者に向け、明日頑張ろうと思っていただける相談の場として認識していただくことを目標に、2人のメンバーにミニ講座をしていただきその中で経験をもとにお話しいただいた。その後4～5人でのテーマごとのグループでファシリテーターを含めた座談会を実施し、各グループでテーマを超えた内容で和気あいあいと話しができて「同じ悩みを抱えている管理者が多くいるとわかった」、「スタッフと一緒に考えていく」、「前に進めそうと思えた」などの意見あり参加者から笑顔がみられた。集客に日程が遅かったことや広報の仕方が悪く目標の参加人数にはいかなかったことが反省点だが、参加者からのアンケートからも満足度は高く私たちに相談者としての役割は今後も望まれていると感じた。また相談には地域性があるため様々な地域からのメンバーが必要という意見もあった。研修会だけではなくメール相談やアドバイザー派遣など今後検討していくことも必要と考える。

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

訪問看護認定看護師による地域貢献活動
素敵な訪問看護ステーションになるためのノウハウ教えます！

ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」

講師1: 訪問看護認定看護師 飯島 美佳
「スタッフ定着育成術 ～落ち着くまで4年かかりました～」

講師2: 訪問看護認定看護師 篠原 かおる
「地域に求められる訪問看護ステーションになろう！」

座談会
※テーマ別に行います

- ① 経営・運営
- ② 人材確保・育成
- ③ 多機能化・大規模化
- ④ 小児、精神訪問看護
- ⑤ ハラスメント

訪問看護管理者の「悩み」を、一緒に考えませんか？

訪問看護事業所の安定した運営を行うために、「人材の確保・育成」、「利用者の確保」、「多職種との連携」など、管理者には多くのことを求められています。
開設したばかり、管理者の経験が浅い、相談できる場がないなどのことから、
管理者一人で悩んでいませんか？
明日からの訪問看護が楽しく実践・管理できるよう、
訪問看護認定看護師と一緒に語り考えてみましょう！

2023年11月18日(土) 9:00～12:00

開催方法 : Web 開催
参加人数 : 30名
参加費 : 2,000円
応募要件 : 訪問看護管理者または次期管理者
応募方法 : QRコードからお申し込みください



*お申込期限 11月7日(火)
*参加が決まった方には決定通知をメールでお知らせ致します

お問い合わせ : 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協会
TEL : 03-5778-7008 MAIL: kyogikai@jvnf.or.jp
担当認定看護師: 野崎加代子 豊田好美 田川章江



ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」&座談会 アンケートまとめ

作成：令和5年度 ミニ講座&座談会運営委員

開催日：2023年11月18日（土）

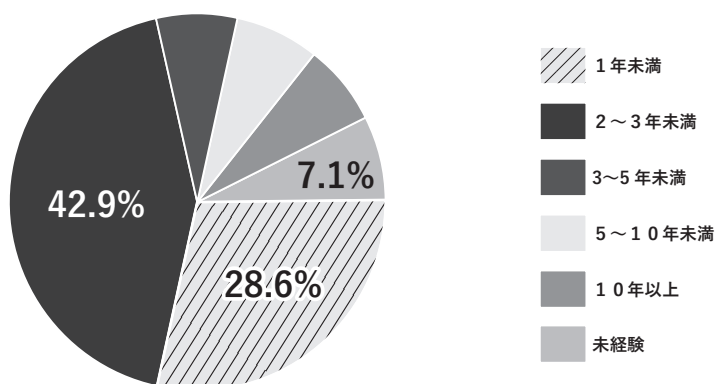
参加人数：14名

回答件数：14件 / 回答率 100%

1. ご回答頂く方についてお伺いします

管理者経験年数は、次のうちどれにあたりますか？

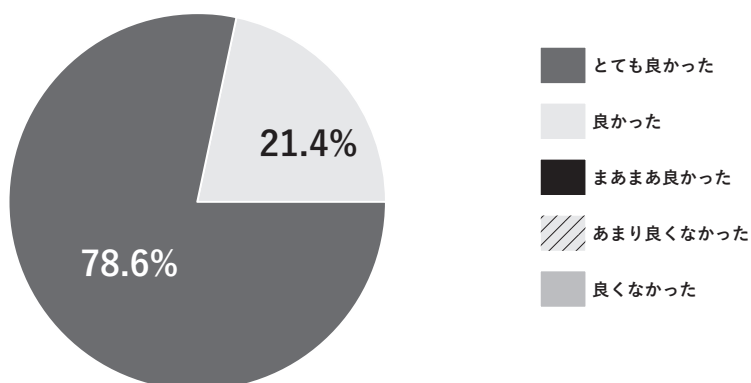
14件の回答



2. ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」についてお伺いします

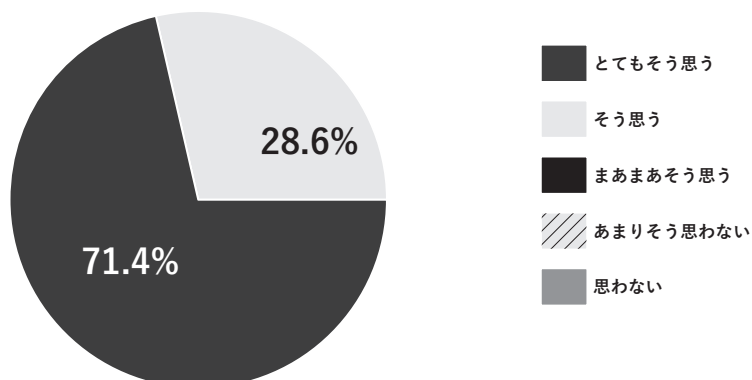
1) 講義1「スタッフ定着育成術～落ち着くまで4年かかりました～」はいかがでしたか？

14件の回答



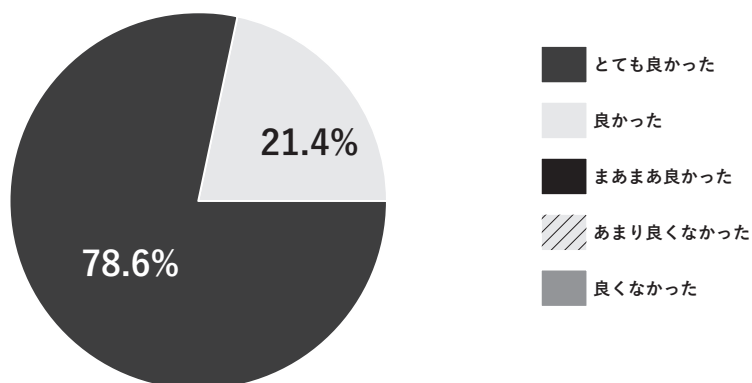
2) 講義1の内容は、今後の活動に活かされますか？

14件の回答



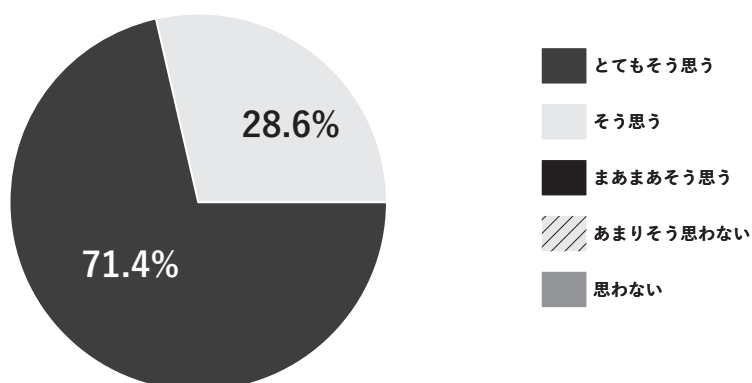
3) 講義2「地域に求められる訪問看護ステーションになろう！」はいかがでしたか？

14件の回答



4) 講義2の内容は、今後の活動に活かされますか？

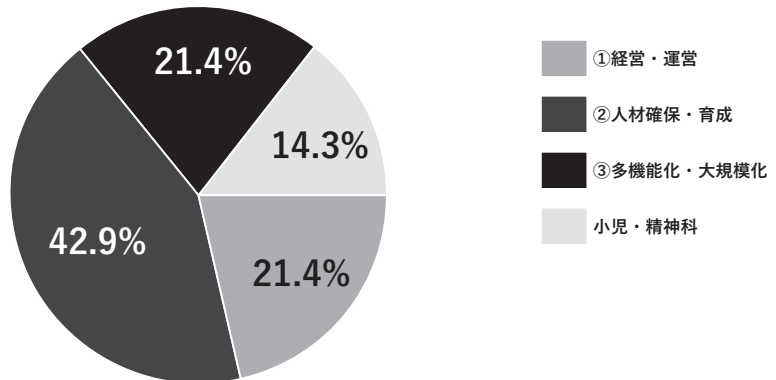
14件の回答



3. 座談会についてお伺いします

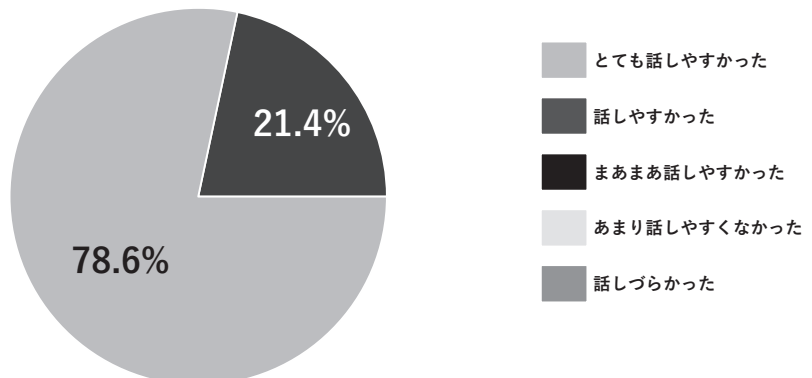
1) 参加したテーマは、次のうちどれですか？

14件の回答



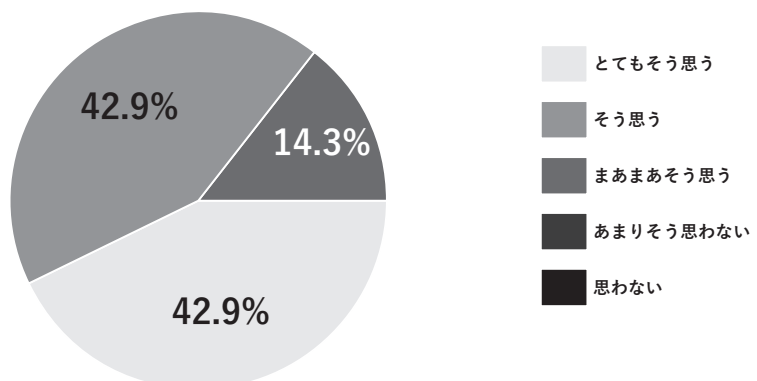
2) 座談会では話しやすかったですか？

14件の回答



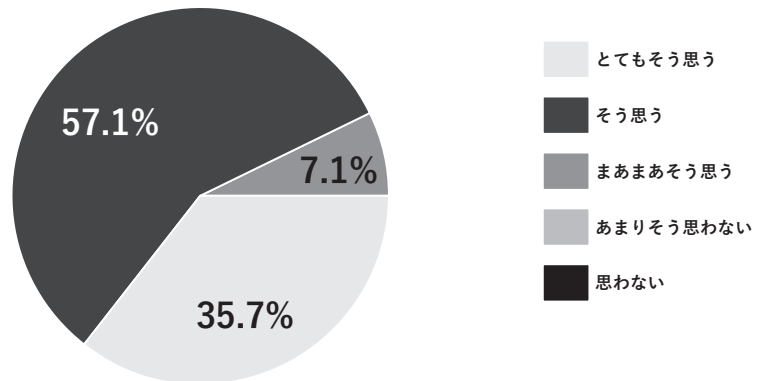
3) 問題や課題を整理することができましたか？

14件の回答



4) 問題や課題を解決する方向性が見えましたか？

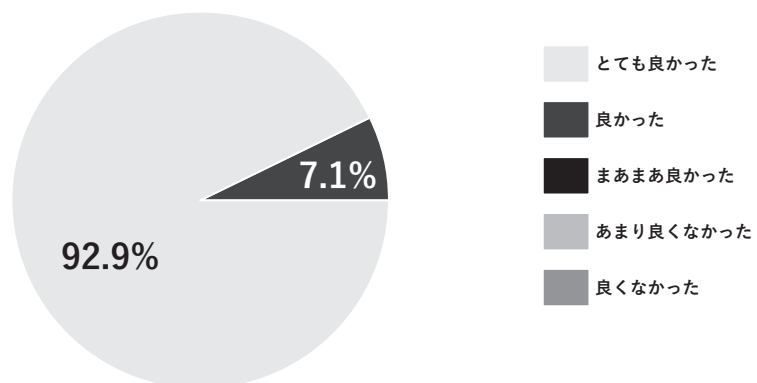
14件の回答



4. 今回の企画全般についてお伺いします

1) 今回のミニ講座&座談会に参加してどうでしたか？

14件の回答



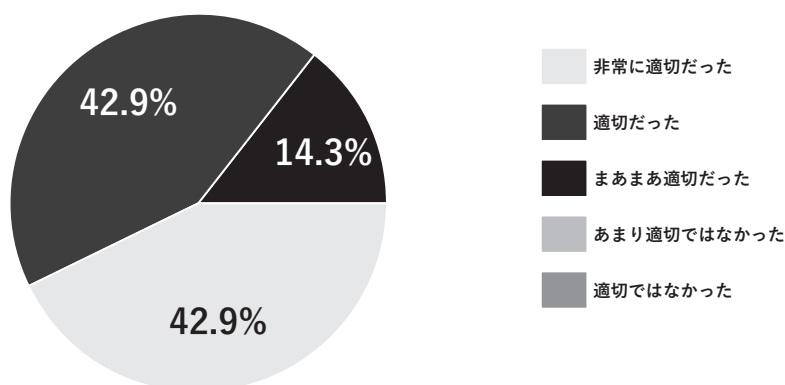
2) 今回参加してのご感想やご意見がございましたら、ぜひお聞かせください (11件の回答)

- 普段関わりのない地域の方々との話なので、気兼ねする事なく話のできたのでよかった。
- 答えが出なかったこと、自分では思いつかなかったことが引き出してもらえたので有り難い時間になりました。
- 管理者という立場からのお話を聞くことができ、今後、自分がどういった力をつけていくといいかを知ることができました。ありがとうございました。
- 仲間がたくさんいる事がわかりました。
- プレイングマネージャーになっており、管理者としてうまく仕事できていないことを日々しんどく思っていました。この研修を受けて少し冷静に考えるきっかけが持てたと思います。

- 具体的な質問がしやすく、お返事もいただけたのでとても満足しました。参加してる方の話も聞けてとても参考になりました。
- 参加するまで、どんな会場なのか未知で、不安でしたが、とても有益な情報を学び、座談会も、小規模でしっかりお話を伺うことができ、本当に良かったです。自分を振り返る機会になるので、年1回参加したいと思いました。
- 訪問看護ステーション管理者に求められる役割が多岐にわたり、悩みも多い。管理者業務でやりがいを見いだせるのか？正直わかりませんが、看護が好きなスタッフとともに頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。
- 野崎さんのお話で自分を大切に、スタッフに任せることも大事と話され泣けそうでした。それだけ自分が思い詰めているんだと認識したのと野崎さんの言葉で救われた感じがしました。
- 貴重な講義を聞かせていただき、グループワークでは管理者の方と悩みを共有できました。頭の中でまとまりなく、問題点も明確になっていないまま日々の業務に追われていましたが、ここで改めて理念の明確化が必要な事、スタッフの人材育成・サポート、新規の獲得、レセプト・制度についての学習など、様々な課題がみえてきました。今日の学びを現場の管理に活かしていけるよう、日々積み重ねていきます。焦らず出来ることから・・・頑張っていきます。ありがとうございました！
- 自分だけが悩んでいたのではないことに気づき、具体策を教えていただいたので、励みになった。

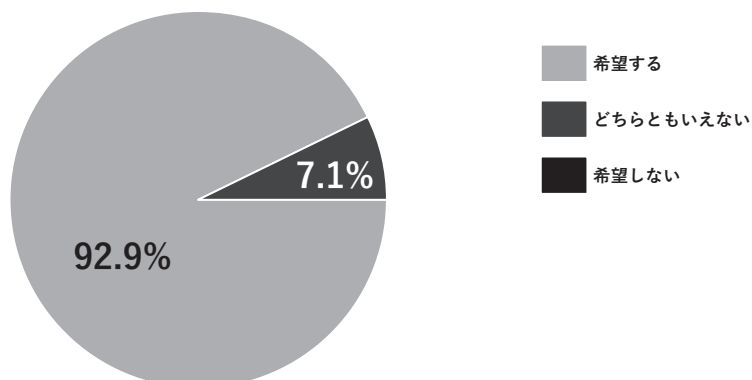
3) 参加費は適切でしたか？

14件の回答



4) このようなイベントの開催を今後も希望しますか？

14件の回答



5) 訪問看護認定看護師に期待することなどお聞かせください（8件の回答）

- 普段、認定看護師と関わる機会がないので、今回のような場で相談や助言をいただける研修が今後もあるとありがたいです。
- 色々な情報をもらいたい。悩んだ時聴いて欲しい。
- メールで相談窓口をとおっしゃっていましたが、是非、そのような機会を作っていただきたいと思います。
- 地元の認定看護師さんもいつもよく活動されていて、いつでも気安く相談にのってくださるし、ありがたい存在です。現状でも十分ですが、ご多忙とは存じますが、有益な情報を定期的に発信してくださる、とかあると、ありがたいです。
- 私は訪問看護の経験が少ないので、困難事例などケース検討も学びたいです。
- 相談に乗ってください！
- 日々の業務で悩み事を相談できるメール相談はぜひ活用させていただきたいです。
- 状態に応じた的確な対応、処置等。

4. 訪問看護ステーションのBCP作成支援

活動名：どうする！うちのBCP作成 相談支援

メンバー：戸崎亜紀子氏（理事）・廣川直美氏（副代表）

山田富恵氏（関東ブロック）・稲葉典子氏（近畿ブロック）・碓田弓氏（東海北陸ブロック）

杉山清美氏（東海北陸ブロック）・邊見知恵子氏（中四国ブロック）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月25日（火）	第1回運営会議	● 事業の趣旨・概要、年間スケジュール、支援内容	7名
5月23日（火）	第2回運営会議	● 稲葉委員・杉山委員の活動報告、支援内容、方法	7名
6月27日（火）	第3回運営会議	● 各自ヒアリングをもとに作成支援の具体策	7名
7月25日（火）	第4回運営会議	● 要項、チラシ案、募集について	4名
8月22日（火）	第5回運営会議	● 参加事業所のヒアリング項目、進行表、チラシ修正	7名
9月26日（火）	第6回運営会議	● 問合せ / 申し込み状況から今後の対応、〆切および料金	7名
10月24日（火）	第7回運営会議	● 申込事業所の事前ヒアリング、当日までの流れ確認	7名
11月27日（月）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日のスケジュール、進行について	7名
12月14日（木）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日スケジュールの最終チェック、今回の研修目標について	7名
2024年 1月30日（火）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日スケジュールの最終チェック、シミュレーション研修進め方、最終到達点について	7名



(2) 研修開催

○第1回目

日 時：2023年11月28日(火) 18:30-19:40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所4名

時間	プログラム	担当
18:30	事業の目的と委員紹介、参加事業所自己紹介、スケジュールの説明	戸崎 廣川
18:45	「BCPとは」を説明 チャットの「本日資料パワポデータ」「オールハザードBCPVer.2データ」 添付し、各事業所でダウンロード実施	稲葉
19:00	ブレイクアウトルームに分かれて、各委員で担当した事業所の状況をヒアリングし、テンプレートの確定と進行計画立案	委員2名で 1事業所の サポート
19:20	全体で各事業所の進捗状況を確認しながら、方向性を確認。作成ポイントを話し合い	委員全員
19:25	次回までの宿題確認と2回目までの質疑のメール等連絡方法の確認、クロージング	戸崎・廣川
19:30	閉会	

○第2回目

日 時：2023年12月17日(日) 9:30～12:40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所4名

時間	プログラム	担当
9:30	開会 本日のスケジュール確認、宿題の共有(3事業所の進捗を共有していただくことで、BCPの知見を増やすため)	戸崎・廣川
9:40	ステップ1・2のおさらい⇒ステップ2「リスクシナリオ」の作成方法の説明⇒リスク値の算出、リスク対応計画書作成の説明、リスク値9点以上について対応計画書を作成する	稲葉
9:55	<ブレイクアウトルームにわかれて> リスクシナリオのうち1つのシナリオを作成、影響度と脆弱性のポイントをつけ、そのシナリオに対するリスク対応計画を作成する。(委員2名で1事業所をサポート)	各委員
10:15	全体で3事業所分をどう作成されたかを担当委員より発表	全員で
10:25	小休憩	
10:30	ステップ3 災害初期対応マニュアルを説明 ここはブレイクアウトルームに分かれず、それぞれですすでにあるマニュアル等をあてはめるか、テンプレートを使うかを決める相談を受けながらすすめ、どの部分を改変したり埋めたりするかアドバイスをする。ハザードマップ、災害関連情報の取り方、ツール、アプリケーションの情報を共有する。例：内水氾濫のマップなど、ふだんなじみがなかった情報を共有する。国土交通省、地域自治体のハザードマップなど	稲葉

10:50	ステップ4 通常業務の洗い出し⇒優先度を決め⇒業務影響分析に落とし込むの3段階を説明	稲葉
11:00	<ブレイクアウトルームにわかれて> 通常業務の洗い出しはすべて行う⇒優先度判定もすべて⇒業務影響分析は、一番上の「訪問」に関する項目について、ボトルネックと代替手段をなぞらえ、改変。委員は、相談を受けながらアドバイス	各委員
11:35	ブレイクアウトルームでの内容を共有	全体で
11:41	休憩	
11:51	ステップ5 ステージングの決定を説明、ステージ2.3.4.1の順番で説明し、ステージ2についての作業方法を説明 ステップ6を説明サマリー作り	稲葉
12:00	<ブレイクアウトルームにわかれる> ステップ5のステージ2を作成。相談を受けながらアドバイスをしていく 次回までに完成させるために、残っている箇所を委員より確認し、何をしたら良いのかを明らかにする	各委員
12:26	ブレイクアウトルームでの話題を共有 次回までに完成させるために、残っている箇所を委員より確認し、何をしたら良いのかを明らかにする	全体で
12:35	閉会 次回の日時調整、改めて調整し日程を決める	戸崎



○第3回目

日 時：2024年1月31日（水）9：30～12：40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所9名

時間	プログラム	担当
17：30	オープニング	戸崎
	今日のスケジュール確認・オリエンテーション	廣川
17：35	ブレイクアウトルームに分かれて、各事業所のBCPの完成版を委員が確認し、残っている課題を明確化する	各担当委員
17：50	各委員より、それぞれのグループのBCPの良かったところを発表	全員で
18：00	・まちの減災ナースの取り組みを活かした研修 ①洪水シミュレーション、グループディスカッション、各事業所 感想 ②トイレの課題検討、各事業所 感想	杉山
19：00	各参加事業所より感想・課題発表、担当委員よりコメント	戸崎
19：25	閉会	廣川

(3) 活動を通して

当協議会は今までも地域貢献活動に取り組んできたが、新たに収益性も踏まえBCP作成支援を行う事にした。それは単に介護事業所にBCP作成が義務付けられたからというわけではなく、新興感染症パンデミックの経験や繰り返される自然災害の脅威から、認定看護師として単なる講義ではなく伴走型として貢献できるのではないかという思いからだった。

運営委員はBCP作成支援研修の経験者と、災害支援ナースとして活動経験者、被災経験者を含み、会議を重ね開催に臨んだ。

終了後の感想やアンケートから、「個別指導では細かい内容まで丁寧に考えてくださり、自施設に落とし込んで内容を一緒に検討して下さったことで、具体化していくことができました。」「講師の方々からのあたたかい言葉があり、頑張れました。」参加料金についても「適切」「安い」と好評を得ることができた。(詳細は別記)

今回の研修中、能登半島地震が発生した。備えの大切さを強烈に実感する出来事だった。今年度の事業経験を活かし、内容をブラッシュアップし提供する意味が大きいと感じることができた。

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

(一社) 日本訪問看護認定看護師協議会 2023年度 地域貢献活動

「どうする!うちのBCP」 相談支援

対象エリア
全国
3事業所限定

いよいよ、事業継続に向けたBCPの策定義務化が今年度末に迫ってまいりました。
 今回当協議会では**BCP作成中でお困りのことや、
 研修や訓練をどのように事業所内で実践していくのか?**等について
3回シリーズで相談・支援をさせていただきます。
 この度、対応エリアを全国に拡大して再告知します!

講師

(一社)日本訪問看護認定看護師協議会
BCP作成支援委員

私たちは、訪問看護や在宅ケアの分野で専門性を発揮しながら、認定看護師3つの役割「実践・指導・相談」を果たし、看護の質の向上に努めています。
 今回は現場で積極的にBCP作成に取り組んでいる会員7名で委員会を構成し、地域貢献活動として企画いたしました。
 認定看護師として培ってきた知識をもとに、地域や現場に即したBCPの作成、出来上がったBCPをいかにスタッフに浸透させるかなど、委員7名の知恵を持ち寄り相談・支援プランを作成しました。
 頑張った作成するBCPが「活きたBCP」となるよう、ぜひ、皆様と共有したいと思ひます。

募集要項

対象エリア 全国

開催時期 1回目)2023年11月28日
 2回目)2023年12月17日
 3回目)2024年1月下旬
※詳細は裏面ご参照ください

参加費用 15,000円(全3回分)

開催場所 全日程オンライン

定員 3事業所限定

お申込み

右のQRコードより
お申込みください。
10月23日(月)締切り



※全国3事業所限定!
お申込みはお早めに!

問い合わせ先
 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会
 BCP作成支援運営委員会
 担当理事: 公財)星総合病院 在宅事業部 戸崎亜紀子
 TEL:024-983-5246 受付時間: (平日)9:00~17:00

(一社) 日本訪問看護認定看護師協議会 2023年度 地域貢献活動

「どうする!うちのBCP」 相談支援

全3回の相談・支援プラン

相談支援
決定後

「作成状況の把握」
BCPを事前に拝見します。
途中で構いません。

STEP1

11月28日(火)
18:30~19:30

「現状のヒアリングと困りごとの相談」

事前に拝見したBCPからアドバイスします。
ヒアリングシートを用いてサポートのポイントを明らかにします。
今後の流れについて説明します。

STEP2

12月17日(日)
9:30~12:30

「その後の進捗確認と修正支援」


進捗を確認し、リスク対応計画書、業務影響分析、業務の洗い出し、業務影響分析、戦略作成まで、一緒に確認していきます。

STEP3

2024年1月下旬頃
夕方2時間

「作成内容の確認とスタッフの皆様への研修実施支援」

前半:残っている課題を確認し、仕上げます。
後半:町の減災ナースの取組を活かした研修を行います。
現場のスタッフも参加可能です。



(一社) 日本訪問看護認定看護師協議会

<https://jvncna.net/>

「どうする！うちのBCP 作成支援」 終了時アンケートまとめ

作成：令和5年度 BCP 作成支援委員会

開催日：第1回目 2023年11月28日（火）

第2回目 2023年12月17日（日）

第3回目 2024年1月31日（水）

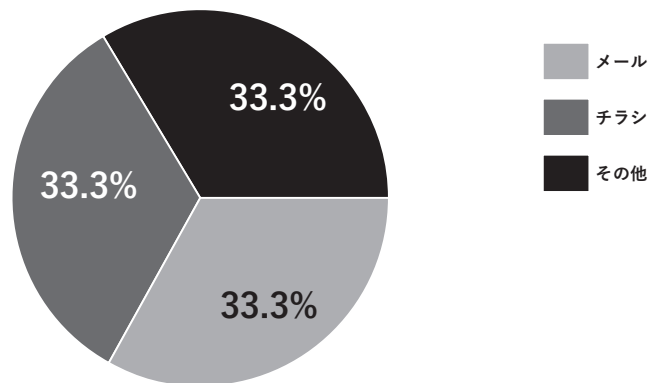
参加人数：3事業所

回答件数：3件 / 回答率100%

※質問項目1.2.は参加者事業所名、メールアドレスの回答のため削除

3. 今回の事業は何で知りましたか？

3件の回答

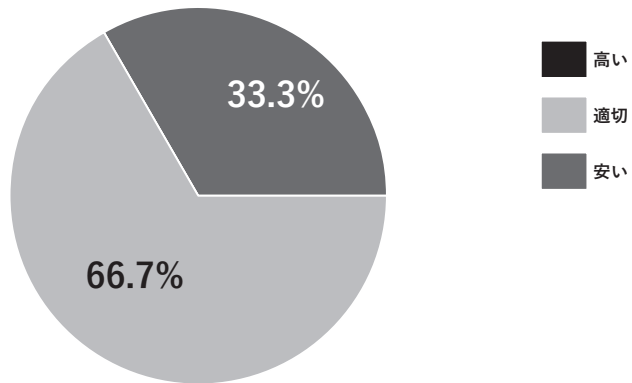


4. BCP 作成支援へご参加いただいた動機を教えてください

- BCP について理解し有用性のあるものにしたかったため
- BCP まったくすすまなかったため
- 作成方法に見当がつかなかったため

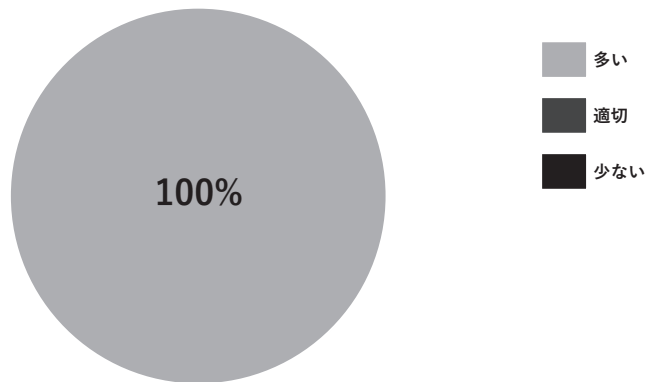
5. 参加料金についてお聞かせください。

3件の回答



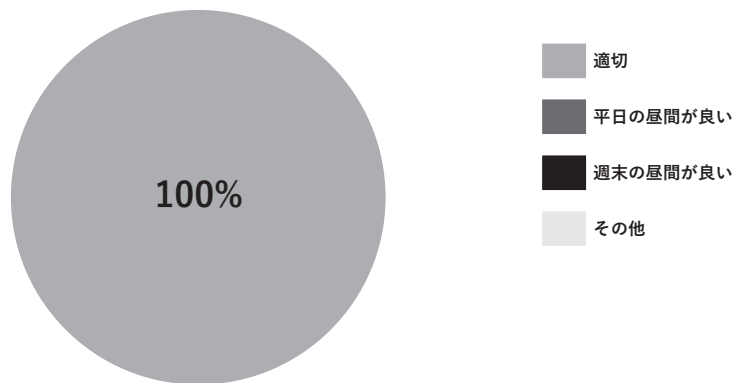
6. 3回の支援回数について？

3件の回答



7. 開催時間はいかがでしたか？

3件の回答

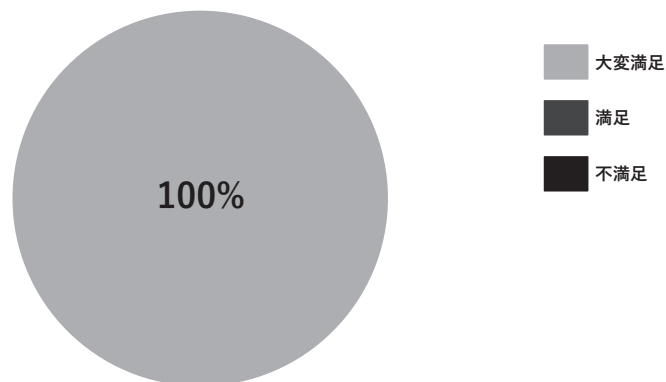


8. 支援内容についてご意見をお聞かせください

- 時間帯や内容に配慮していただき参加しやすく、個別で指導が受けられたのでよかったです
- 考える支援をしてくださったのでとてもよかったです
- データベースの内容がとても素晴らしく、また個別に具体的なアドバイスをいただけてとてもわかりやすかった

9. 全体を通した満足度はいかがですか？

3件の回答



10. その他、上記の質問以外でご感想など忌憚ないご意見をおきかせください。

- 個別指導では細かい内容まで丁寧に考えてくださり、自施設に落とし込んで内容を一緒に検討してくださったことで、具体化していくことができました。また、シミュレーションで他施設の方と意見交換しながら指導をいただき、実際の発動の流れなどイメージでき大変勉強になりました。ありがとうございました
- とてもよい支援いただけたと思っています。自身でもやった感があります。早速、事業所内で、シミュレーション研修しました。皆で考えられました。ありがとうございました
- 何から手をつけてよいかわからなかったBPCでしたが、こちらの研修に参加させていただけたおかげでスムーズに作成できました。講師の方々からのあたたかい言葉があり、頑張れました。本当に感謝しております。ありがとうございました

5. 報酬改定に向けた活動

活動名：報酬改定に向けた活動

メンバー：1名 平野 智子氏（理事）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 6月14日（水）	要望書提出	・『診療報酬改定要望書』を厚生労働省保険局保険局長 伊原和人氏へ提出 ・『介護報酬改定要望書』を厚生労働省老健局老健局長 大西証史氏へ提出	—

（2）要望書の重点事項

1. 依存度の高い利用者（ターミナル期・神経難病・難治性の高い創状態にある利用者等
／診療報酬にはこれに 在宅人工呼吸器装着者を追加）への評価の見直し
2. 退院支援の評価
3. 地域包括ケアシステムにおける連携・相談への評価
4. 訪問看護（在宅ケア）訪問看護認定看護師（特定行為修了者）、
在宅ケア専門看護師のいる事業所への評価

※要望書の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



第3章 事業の評価

- 1 ブロック活動
- 2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023
- 3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動
- 4 訪問看護ステーションのBCP作成支援
- 5 報酬改定に向けた活動

1. ブロック活動

ブロック活動は、認定看護師の資質向上や培った能力で地域に貢献するための活動などを企画・運営すること、また会員同士の情報交換のための交流会等を開催することを目指し取り組んでいる。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、活動も集合型、ハイブリッド型、オンライン型と各ブロックのテーマや対象者に合わせて実施されている。Webを使った研修では、ブロックの垣根を超え全国の会員が参加する機会も多く、対面での交流も増えてきている。

活動内容は、各ブロックの地域や会員のニーズに合わせて、研修会や交流会を企画されていた。どのブロックも研修会・交流会参加者の満足度は高く、訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師としての活動に活かされていると評価できる。特に、会員同士または地域のネットワークを広げる一助となっている。しかし、ブロックによっては、参加者の人数が少ない、会員数の伸び悩み等の課題もあり、魅力あるブロック活動の広報を検討していきたい。

ブロック活動の運営については、ブロック長会議を2回開催し、様々な情報交換と提案があり、スムーズに活動ができたと思われる。しかし、ブロック長としての負担の感じ方に差異はあるが、果たす役割は大きいと感じる。ブロック運営の役割分担を考え、協議会として定め承認していくことを検討し、ブロック活動実施ガイドライン（活動申請～報告までの流れや書類）の見直しを行う時期に来ていると思われる。負担感なく楽しく有意義な、みんなで学びあえる活動ができるように支援していきたい。

担当役員	理事	田村 美樹枝
	理事	川崎 幸栄子

2. 総会及び同時開催研修会、交流会

6/10の総会及び同時開催研修会では、本年度もZoomを利用したオンライン開催となった。

総会では委任状を含む221名が参加、同時開催の研修会では71名の参加があった。研修会では例年通り、①訪問看護認定看護師更新申請のための情報提供②訪問看護ステーションの『法律・制度を活用したコミュニケーション向上術』をテーマに講演を開催した。講演会では、訪問看護ステーション運営における就業規則や労働契約についての内容、及び作成時の注意点などを学ぶ機会となった。法律制度をきちんと理解し活用することで、上手くスタッフとコミュニケーションをとりながらお互いの安全と健康を守っていく必要があると再認識した。

12/9の交流会では、法人第10期を記念して、『感謝と魅力を語ろう』をテーマに記念講演会や10年の振り返りと未来に向けての語り合いを目的にハイブリッド開催とした。全体で58名の参加があり、会場は楽しい雰囲気に包まれた。記念講演会では訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師とは、これからの医療を支える重要なキーパーソンであり、自施設に限らない多様な地域での活躍を期待されていることを改めて実感した。また10年の振り返りの中では、関係諸機関からのお祝いメッセージの紹介、これまでの協議会の歩みや仲間の活動紹介のスライドショー、レジェンドトークなどで会場も盛り上がり、また涙する場面も見受けられた。両日共に参加者から高評価が得られており、訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師としての自己研鑽、及び我々の未来に向けての可能性を再認識する内容であったと考える。

担当役員	理事	山崎 佳子
	理事	松下 容子

3. 訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

認定看護師の役割には「実践」「指導」「相談」があり、オンラインでの「訪問看護認定看護師によるコンサルテーション活動」を実施した。

近年、訪問看護事業所が多数開設されているが、事業所経営や運営、制度、人材育成などの相談が多数寄せられることが増え、開設後まもなく閉鎖や休止してしまう事業所が多く見受けられる。昨年より全国の訪問看護ステーションの管理者を対象に私たち訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師の力を役立てるため、ミニ講座&座談会を企画し実施した。今年度も昨年度のアンケート結果での継続希望を踏まえ開催した。

会員の皆様へメンバー募集をさせていただき参加希望の方より5名選出し活動した。オンライン研修にも慣れ準備から当日運営までZoomを利用したが、スムーズに実施できた。昨年より会費を値上げしたことや公報の期間や方法に課題が残り参加者は予定人数には達しなかったが、アンケート結果や参加者の感想より明日からの仕事への意欲へつながる研修会となった。また今後相談の場としての認定看護師の役割を再認識した。今後研修会の継続と新しくメール相談の企画し軌道に乗せていきたいと思う。

担当役員	監事	野崎 加世子
	理事	豊田 好美
	理事	田川 章江

4. 訪問看護事業所の BCP 作成支援事業

当協議会は今までも地域貢献活動に取り組んできたが、新たに収益化を踏まえ、BCP 作成支援を行う事になった。それは単に介護事業所に BCP 作成が義務付けられたからというわけではなく、新興感染症パンデミックの経験や繰り返される自然災害の脅威から、認定看護師として単なる講義ではなく伴走型として貢献したいとの思いがあったからだ。

運営委員は BCP 研修運営経験者、災害支援ナース、被災経験のある協議会会員、および参加意思のある会員から選出し、担当理事を含めた7名で取り組んだ。会議はすべてオンライン会議で実施した。当初現地に伺うことを想定し、対応エリアや手法をどうするか決定に時間を要した事や、一度目の募集で参加者ゼロだったためチラシと金額の無直しを行うなど予定の会議回数を越えてしまった。

結果3事業所を対象に実施することができた。オンラインであっても、ブレイクアウトルームにより個別相談対応を実現し、共有の時間で他事業所の取組にも触れ、大変満足とのアンケート結果を得ることができた。フリートークの感想で、「BCP 作成をとおして地域を見つめることができた」「有事の際にスタッフが現実的に動けるかなど考えることができた」「BCP 作成を通すことで事業所が成長できると感じた」との発言を耳にしたときは、BCP 作成の意味を参加者から学ぶことができたと感じ感慨深かった。

BCP 義務化ののちは見直しやマネジメント (BCM) が必要となってくる。おりしも、研修の途中、能登半島地震が発生した。どこでもいつでも災害は起こりえると突き付けられた思いだった。初年度の取組をもとにブラッシュアップして、引き続き協議会の地域貢献に寄与していきたい。

担当役員	理事	戸崎 亜紀子
	理事	廣川 直美

5. 報酬改定に向けた活動

2024年度の医療保険・介護保険の同時制度改定に向け、2018年から2021年度にかけて当協議会員に向けて行われたアンケートおよび調査結果をもとに、訪問看護認定看護師および在宅ケア認定看護師の視点としての制度改定への要望書を作成し、6月14日（水）、

『診療報酬改定要望書』を厚生労働省保険局保険局長 伊原和人氏へ、

『介護報酬改定要望書』を厚生労働省老健局老健局長 大西証史氏へ、

それぞれ提出した。

私たちの声が制度改定に活かされることを期待する。

次年度は、令和6年の医療保険・介護保険の同時制度改定の結果を踏まえ、協議会の会員皆様の意見を収集し、次回の改正の際に要望書を提出できるよう取り組んでいきたいと考えている。

担当役員 理事 平野 智子

別添資料

- 1 会員数及び9ブロック図
- 2 組織について
- 3 理事会の開催
- 4 会員活動調査集計結果（一部抜粋）

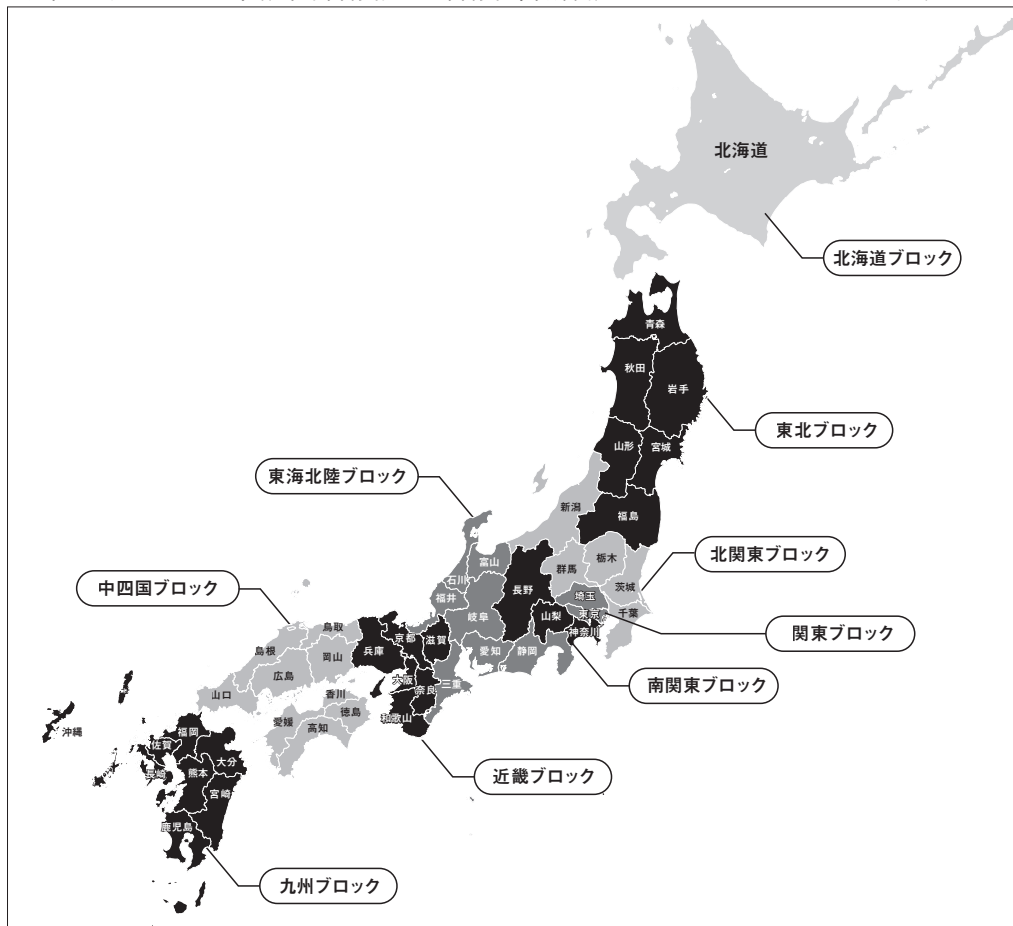
訪問看護認定看護師数・在宅ケア認定看護師数（日本看護協会 認定部資料）

1. 会員数（2024年2月29日現在）

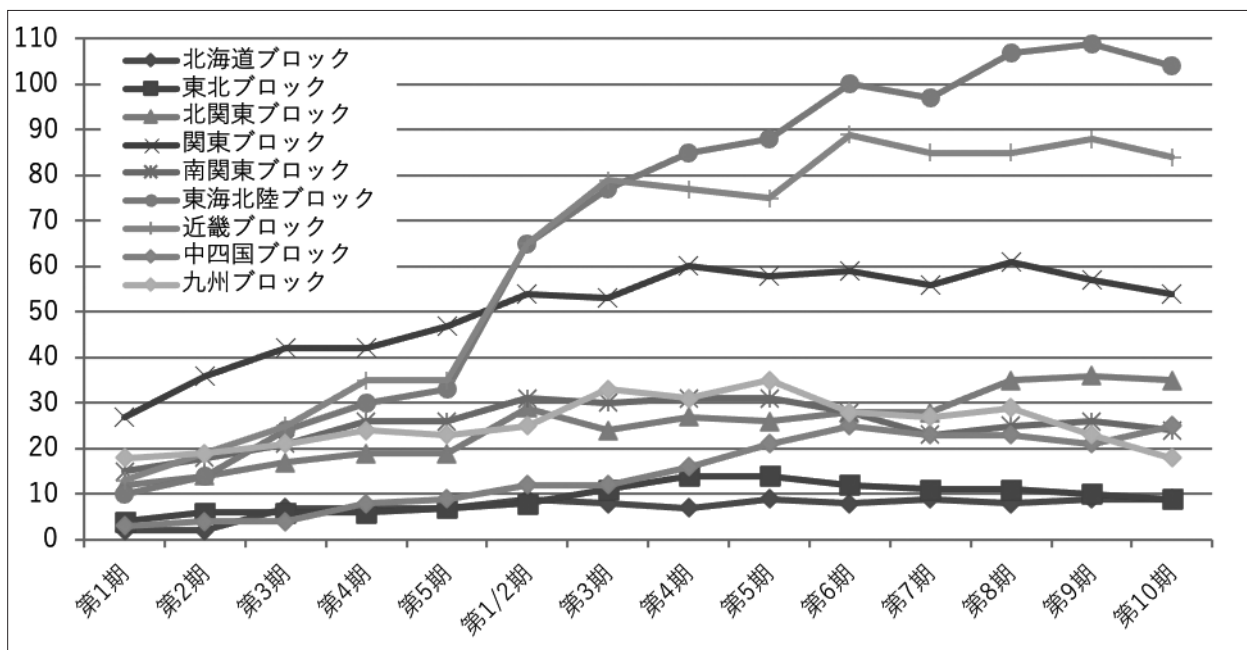
(1) 2023年度会員数

正会員 364名 ・ 賛助会員 8名

(2) 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会における9ブロック区分図

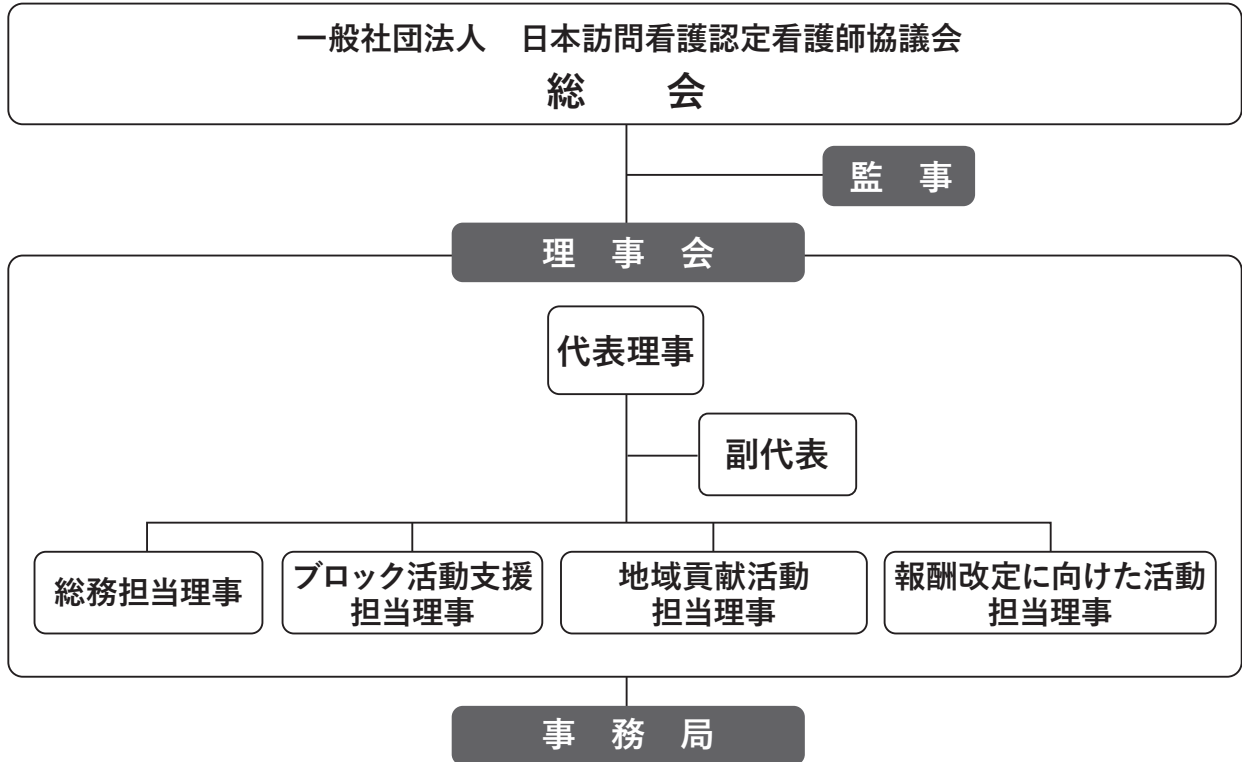


(3) ブロック別会員数の推移



2. 組織について

(1) 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会における執行機関係統図



(2) 理事会・事務局名簿（ブロック順・敬称略）

〔理事〕

代表	大橋 奈美	医療法人ハートフリーやすらぎ 常務理事兼統括管理責任者 訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ
副代表	廣川 直美	ナースステーション東京 目黒支店 所長
	田川 章江	社会医療法人孝仁会 訪問看護ステーションはまなす
	戸崎 亜紀子	公益財団法人 星総合病院 法人在宅事業部
	山崎 佳子	株式会社 やさしい手 看護小規模多機能型居宅介護・かえりえ南佐津間 管理者
	平野 智子	特定非営利活動法人 訪問看護ステーションコスモス 所長
	豊田 好美	一般社団法人 横浜市旭区医師会旭訪問看護リハビリステーション
	松下 容子	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 所長
	田村 美樹枝	社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会松山訪問看護ステーション 所長
	川崎 幸栄子	公益社団法人 いちよしの樹 鹿児島看護専門学校 専任教員

〔監事〕 野崎 加世子 これからの在宅医療看護介護を考える会 代表

〔事務局〕 公益財団法人 日本訪問看護財団
常務理事 平原 優美 / 課長 高橋 洋子 / 村田 由香里

3. 理事会等の開催

(1) 理事会

事業推進の為、下表のとおり開催した。今期もコロナ禍のため、全会議Webでの開催となった。

第1回	2023年5月13日(土)	Zoomによるオンライン開催
第2回	2023年9月2日(土)	Zoomによるオンライン開催
臨時	2023年11月1日(水)	Zoomによるオンライン開催
第3回	2024年3月2日(土) 予定	Zoomによるオンライン開催を予定

(2) ブロック長会議

ブロック活動の活性化を図ることを目的とし、まずは2023年6月21日(水)にブロック活動支援担当理事と事務局で今期活動の方向性を確認し、下表のとおり開催した。

第1回	2023年7月8日(土)	Zoomによるオンライン開催
第2回	2023年8月26日(土)	Zoomによるオンライン開催
合同会議	2024年3月2日(土) 予定	Zoomによるオンライン開催

4. 会員活動調査集計結果

本協議会ではブロック活動の他に地域貢献を目的としたコンサルテーション活動など、協議会全体として取り組む活動がある。また、近年では、他団体からの協力依頼も頂くようになってきている。理事会では、このような活動を企画・運営する人員を会員から選出しているが、その時に活用するのが、会員活動調査である。毎年の年度末に会員へ調査の協力依頼を行い、そのデータを元に次年度の活動メンバー選出に活用している。

一方、この調査から、協議会会員の活動の多様性を見ることも出来たため、それを示せるデータを報告する。

「協議会会員の活動調査 2023年度版」より

調査時期：2023年2月1日～2023年3月31日

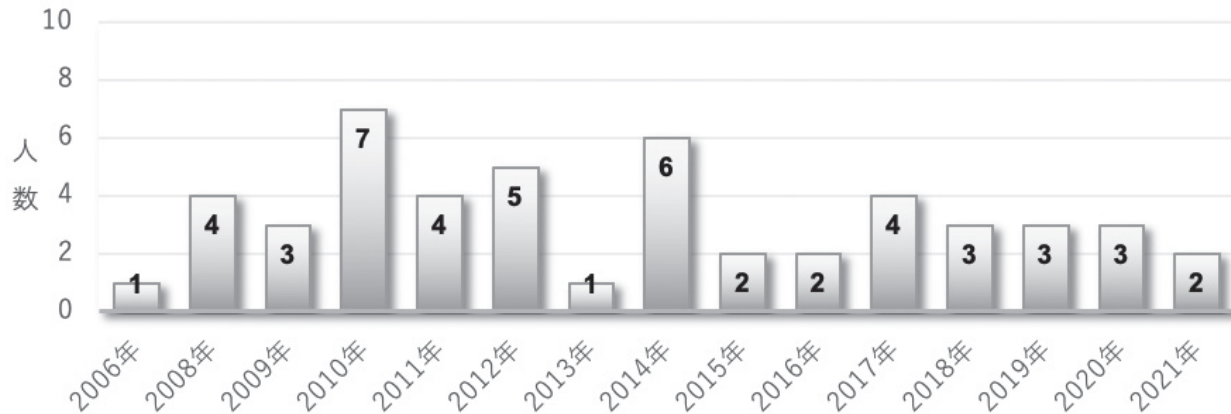
調査対象：一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会 正会員 373名

調査方法：Google フォームによるアンケート方式

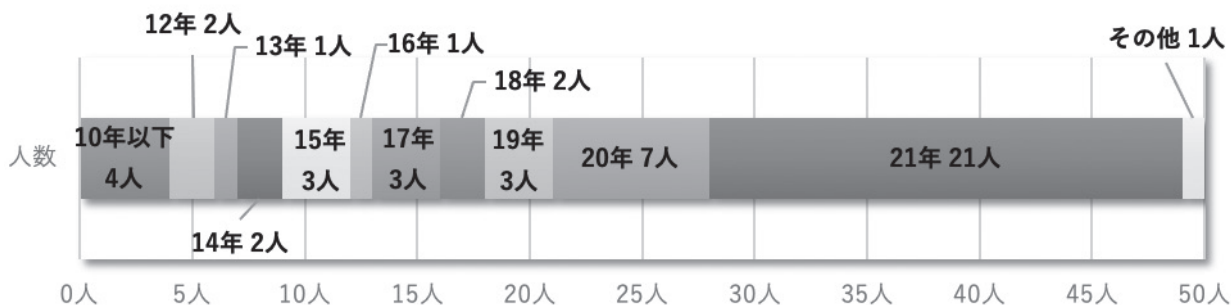
回答数：50名（回収率13.4%）

●回答者の情報

1) 回答者の認定取得年（n=50）

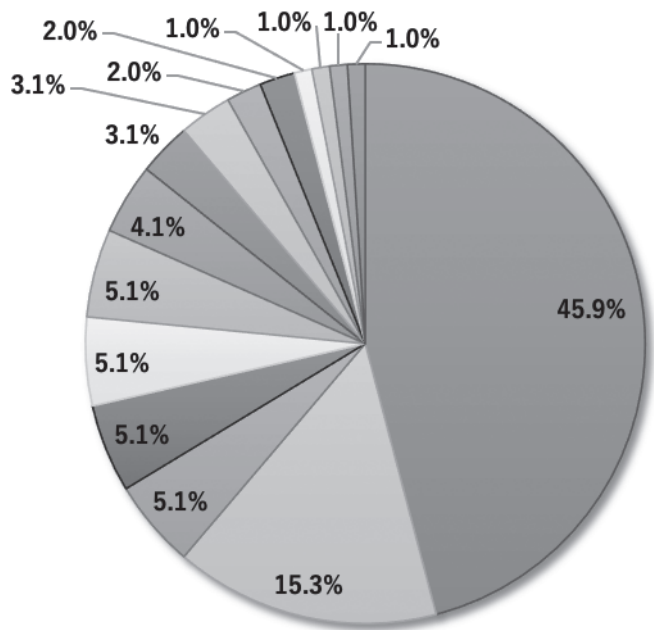


2) 回答者の訪問看護経験年数（n=50）



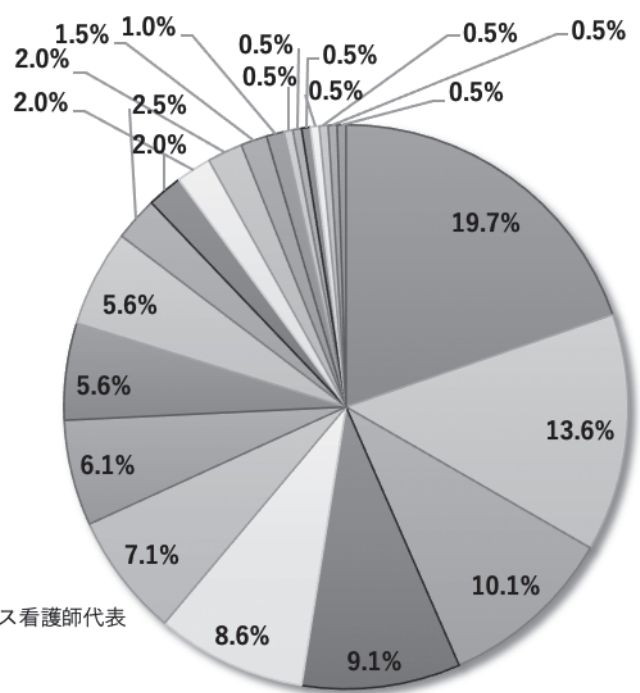
3) 回答者の所属先事業形態 (n=50 複数回答)

- 訪問看護
- 居宅介護支援
- 病院
- 訪問介護
- まちの保健室等の相談事業
- 教育機関
- 療養通所介護施設 (ナーシングデイ含)
- 児童発達支援・放課後等デイサービス
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 教育ステーション
- 定期巡回・随時対応型訪問看護介護看護
- 住宅型有料老人ホーム(ホームホスピス)
- 多世代交流センター
- サービス付き高齢者向け住宅保育園
- デイサービス宿泊施設

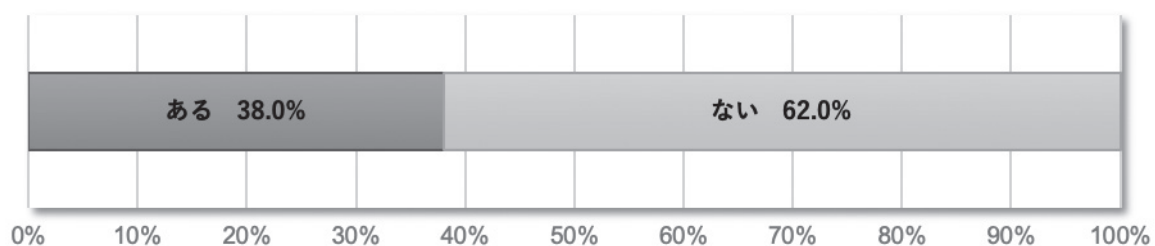


4) 回答者の業務外活動 (n=50 複数回答)

- 現任者や一般市民向け研修等の講師
- 学会や自治体、看護協会等における委員会活動
- 都道府県や市区町村の連絡協議会などへの参加
- 院内研修のプログラム担当、指導
- 自治体や看護協会等の委託事業
- 学会講師やシンポジスト等
- 研究発表の共同研究者
- 認定教育課程の研修者に対する実習指導
- 研究発表の筆頭者
- 認定教育機関での講師
- 論文の筆頭執筆
- まちの保健室等の相談活動
- 事業所運営 (経営) アドバイザー
- 論文等の共著者
- 災害支援
- 地域踊り保存会、町づくり委員会、日本在宅ケアアライアンス看護師代表
- 特定行為
- 特定行為研修の研修者に対する実習指導
- 特定看護師の活動支援
- 座長
- 看護大学の講師
- 査読委員



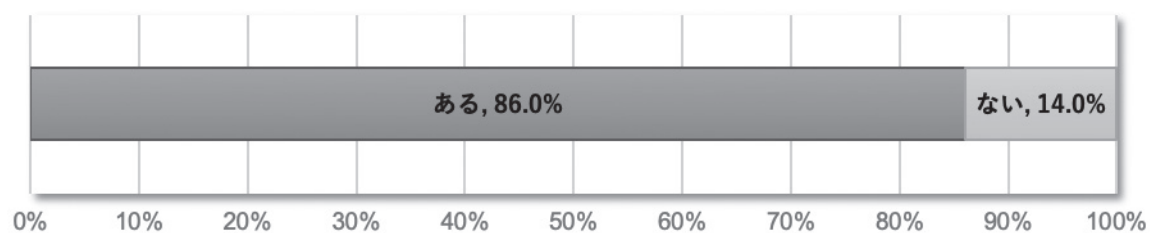
5) ここ5年以内に、相談や事業所アドバイザーの実施経験があるか？ (n=50)



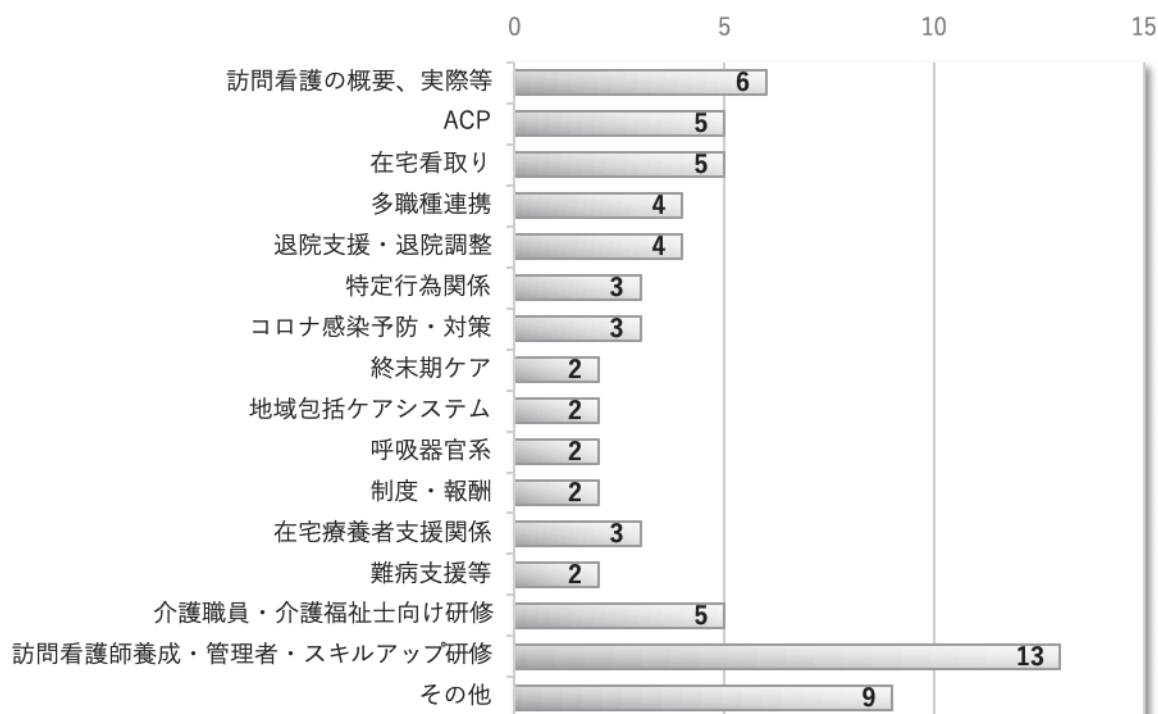
6) 実際に受けた相談内容 (n=19 複数回答)



7) 講義や講演を依頼され、実施したことがあるか？ (n=50)



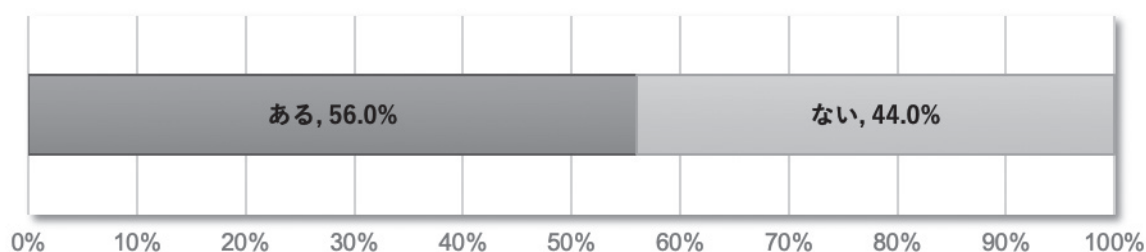
8) 実施した講義・講演のテーマ (n=43 複数回答)



その他については、「経営」「活動論」「在宅における災害」「フィジカルアセスメント」「困難ケース」「急変時の看護」「在宅でのパーキンソン病を考える会」「小児在宅医療における訪問看護の役割」「発生した褥瘡の治療と管理」があった。

また、講義の対象者は訪問看護師や病院看護師のほか、地域の専門職、学生、一般市民など、多岐にわたっていた。

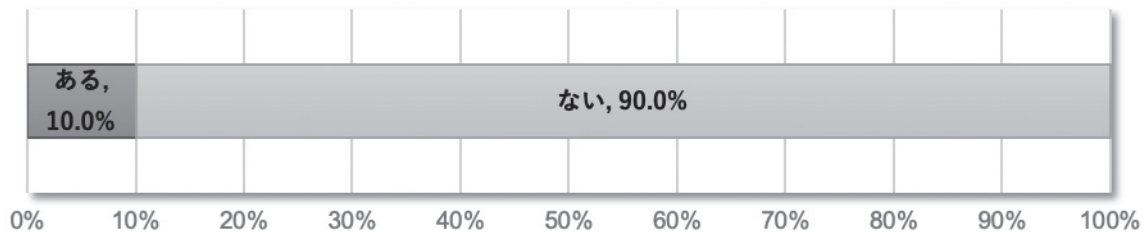
9) 研究や学会発表を行ったことがあるか? (n=50)



研究テーマについては人材育成をテーマにしたものや、訪問看護師の役割に関するもの、事例を通したもの、看取り、多職種連携に関するテーマが見られた。

また、発表した学会は「日本在宅看護学会」が最も多く、次いで、各都道府県の看護学会、在宅ケア学会、死の臨床研究学会等があげられた。

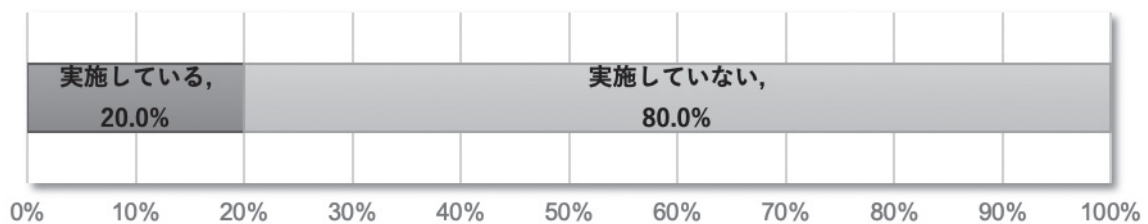
10) 特定行為研修を修了したか？ (n=50)



修了したと回答した方のうち、半数は特定認定看護師へ移行した。まだ移行していないと回答した方も、これから移行手続きを行う予定であった。

また、修了した分野は、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が最も多く、次いで「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」「ろう孔管理関連」「創傷管理関連」との回答であった。

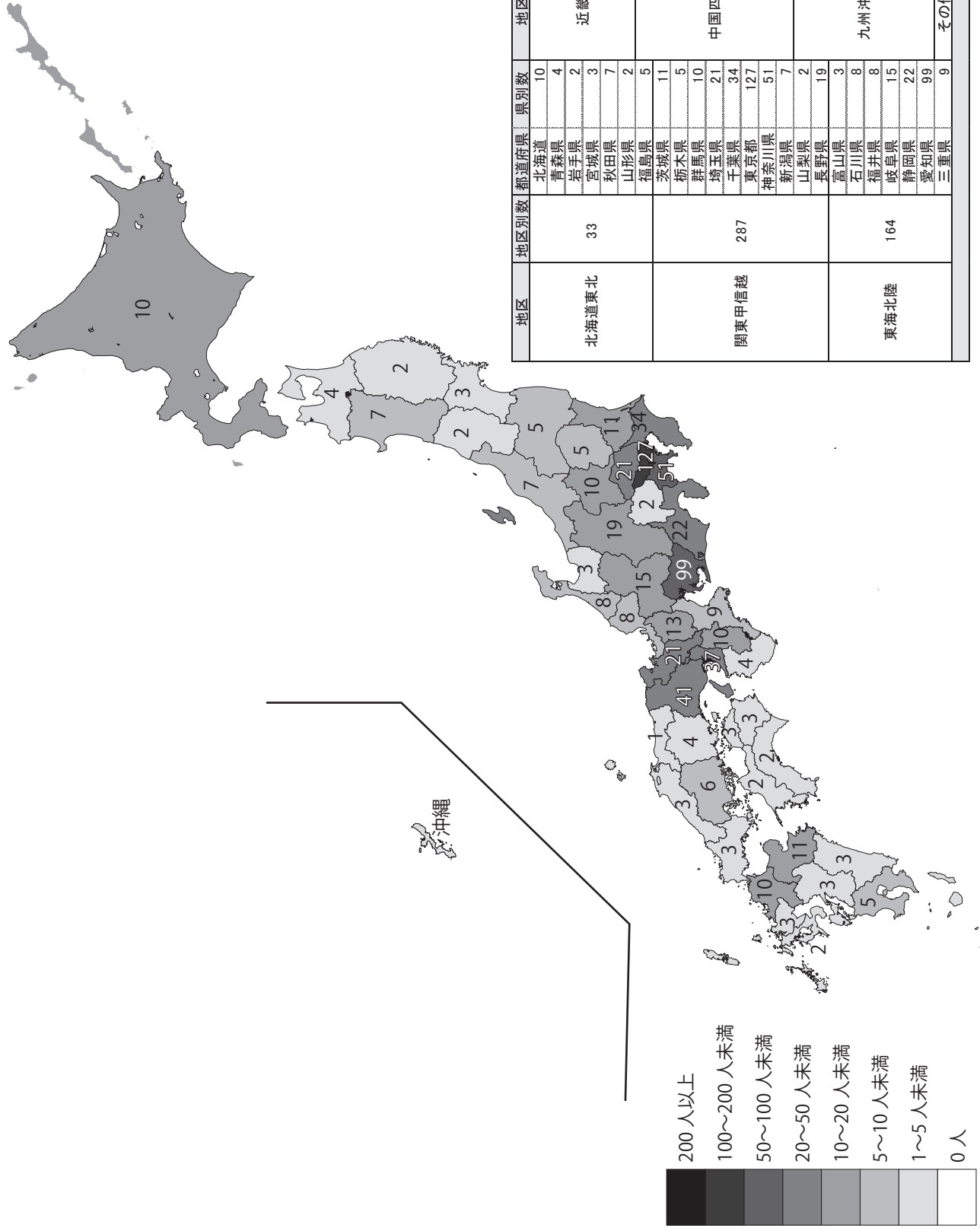
11) 特定行為研修を実施しているか？ (n=5)



実施していない理由は「まだ取得したばかり」「以前は実施していたが該当者がいないため」であった。

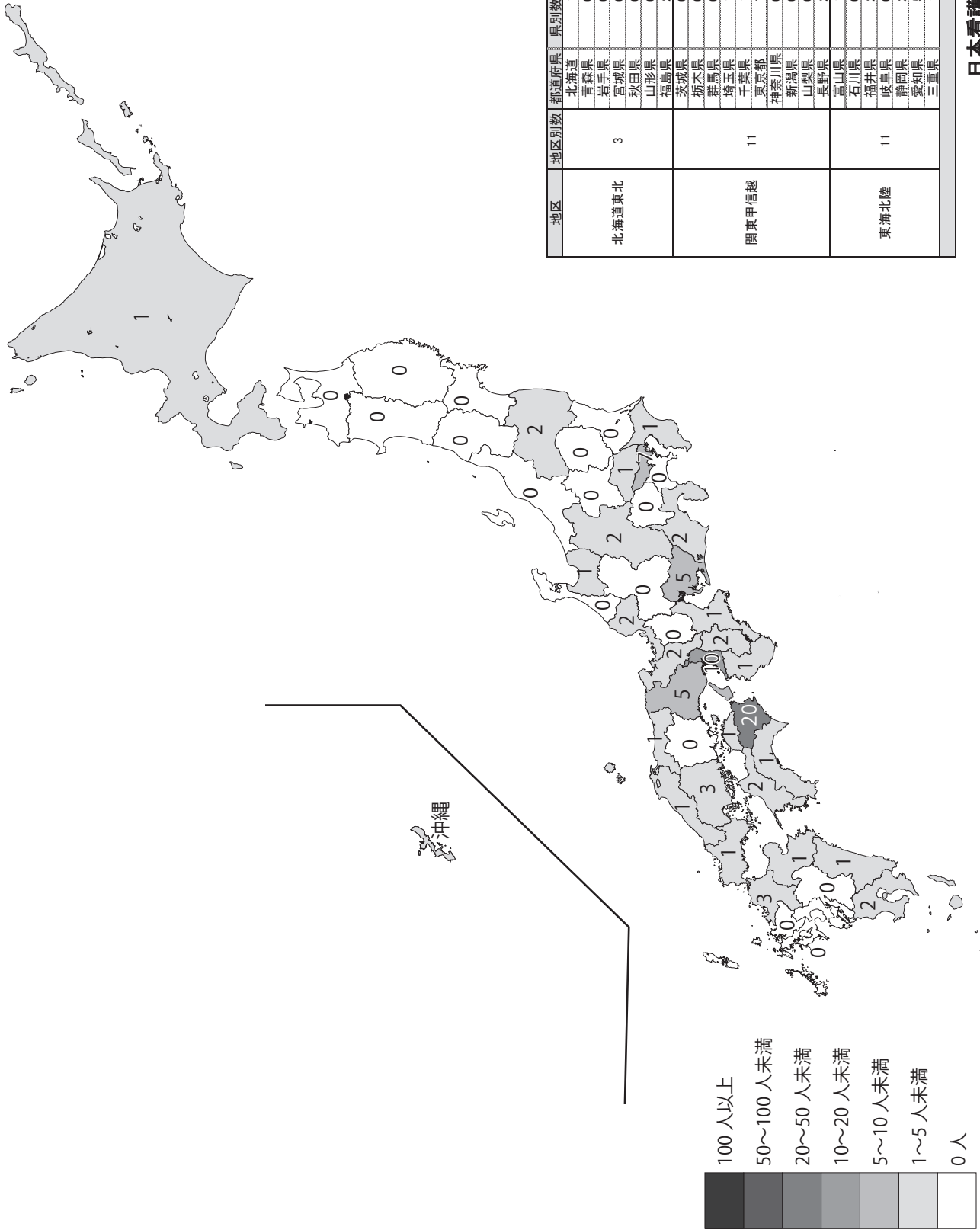
以上

【A 課程】訪問看護認定看護師数 677名



地区	地区別数	都道府県	県別数	地区	地区別数	都道府県	県別数
北海道東北	33	北海道	10	近畿	126	滋賀県	13
		青森県	4			京都府	21
		岩手県	2			大阪府	37
		宮城県	3			兵庫県	41
関東甲信越	287	秋田県	7	中国四国	27	奈良県	10
		山形県	2			和歌山県	4
		福島県	5			鳥取県	1
		茨城県	11			島根県	3
		栃木県	5			岡山県	4
		群馬県	10			広島県	6
		埼玉県	21			山口県	3
		千葉県	34			徳島県	3
		東京都	127			香川県	3
		神奈川県	51			愛媛県	2
		新潟県	7			高知県	2
東海北陸	164	山梨県	2	九州沖縄	40	福岡県	10
		長野県	19			佐賀県	3
		富山県	3			長崎県	2
		石川県	8			熊本県	3
		福井県	8			大分県	11
		岐阜県	15			宮崎県	3
		静岡県	22			鹿児島県	5
		愛知県	99			沖縄県	3
三重県	9	その他	0	(海外)	0		
総数							677

【B 課程】在宅ケア認定看護師数 82名



地区	地区別数	都道府県	都道府県別数	地区	地区別数	都道府県	都道府県別数	
北海道東北	3	北海道	1	近畿	20	滋賀県	0	
		青森県	0			京都府	2	
		岩手県	0			大阪府	10	
関東甲信越	11	宮城県	0	中国四国	30	兵庫県	5	
		秋田県	0			奈良県	2	
		山形県	0			和歌山県	1	
		福島県	2			鳥取県	1	
		茨城県	0			鳥取県	1	
		栃木県	0			島根県	0	
		群馬県	0			岡山県	0	
		埼玉県	1			広島県	3	
		東京都	7			山口県	1	
		神奈川県	7			徳島県	20	
		新潟県	0			香川県	1	
東海北陸	11	山梨県	0	九州沖縄	7	愛媛県	2	
		長野県	2			高知県	1	
		富山県	1			福岡県	3	
		石川県	0			佐賀県	0	
		福井県	2			長崎県	0	
		岐阜県	0			熊本県	0	
		静岡県	2			大分県	1	
愛知県	5	宮崎県	1					
三重県	1	鹿児島県	2					
		(海外)	0	その他	0			
						総数		82

2023 年度日本財団助成事業

訪問看護認定看護師による在宅ケア・在宅看取り活動の推進事業報告書

2024 年 3 月 31 日 印刷・発行

発行



一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階

公益財団法人日本訪問看護財団内

TEL 03-5778-7008

FAX 03-5778-7009

URL <https://jvncna.net/>

印刷 株式会社 キリシマ印刷

● 記載事項の一部または全部について、許可なく複写・複製することを禁じます

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION